

日本金融学会 2022年度秋季大会、神戸大学、11月26日～27日

国際金融パネル オンライン [11月26日(土)]

「原油価格高騰、世界インフレ、円安の日本経済への波及」

**登壇者:** 座長 佐藤清隆氏、横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授  
基調講演 Fabio M. Natalucci 氏、IMF 金融資本市場局副局長  
パネリスト 祝迫得夫氏、一橋大学経済研究所教授  
パネリスト 塩路悦郎氏、一橋大学経済学研究科教授  
パネリスト 吉田裕司氏、滋賀大学経済学部教授

全体構成: (2時間)

**第一部:** 原油価格高騰、世界インフレに関する背景、並びに世界各国の状況説明  
(事前録画 30分)

**Fabio Natalucci** (金融資本市場局副局長) 事前録画で登壇

※パワポスライドでの発表(20分)、その後 Q&A 形式のインタビュー(10分)を進める。  
録画当日(10/27)は、モデレーター(吉田)が担当。

**第二部:** 関連実証分析 (60分)

外部ショック(資源価格高騰、外国インフレ、円安等)が日本経済に与える影響についてこれまでの実証研究に基づくエビダンスの提示。国内インフレへの影響、生産への影響、労働(賃金、失業)への影響等も含む。

(i) 実物要因が為替レートとインフレ率に与える影響の国際比較 祝迫得夫(一橋大学)

(ii) 外的要因は日本に持続的インフレをもたらすか 塩路悦郎(一橋大学)

(iii) 為替レート・原油価格の国内価格への影響 吉田裕司(滋賀大学)

**第三部:** パネルディスカッション (30分)

これから日本経済に与えるであろう影響、並びにどのような政策が好ましいかなど、を自由に議論する。